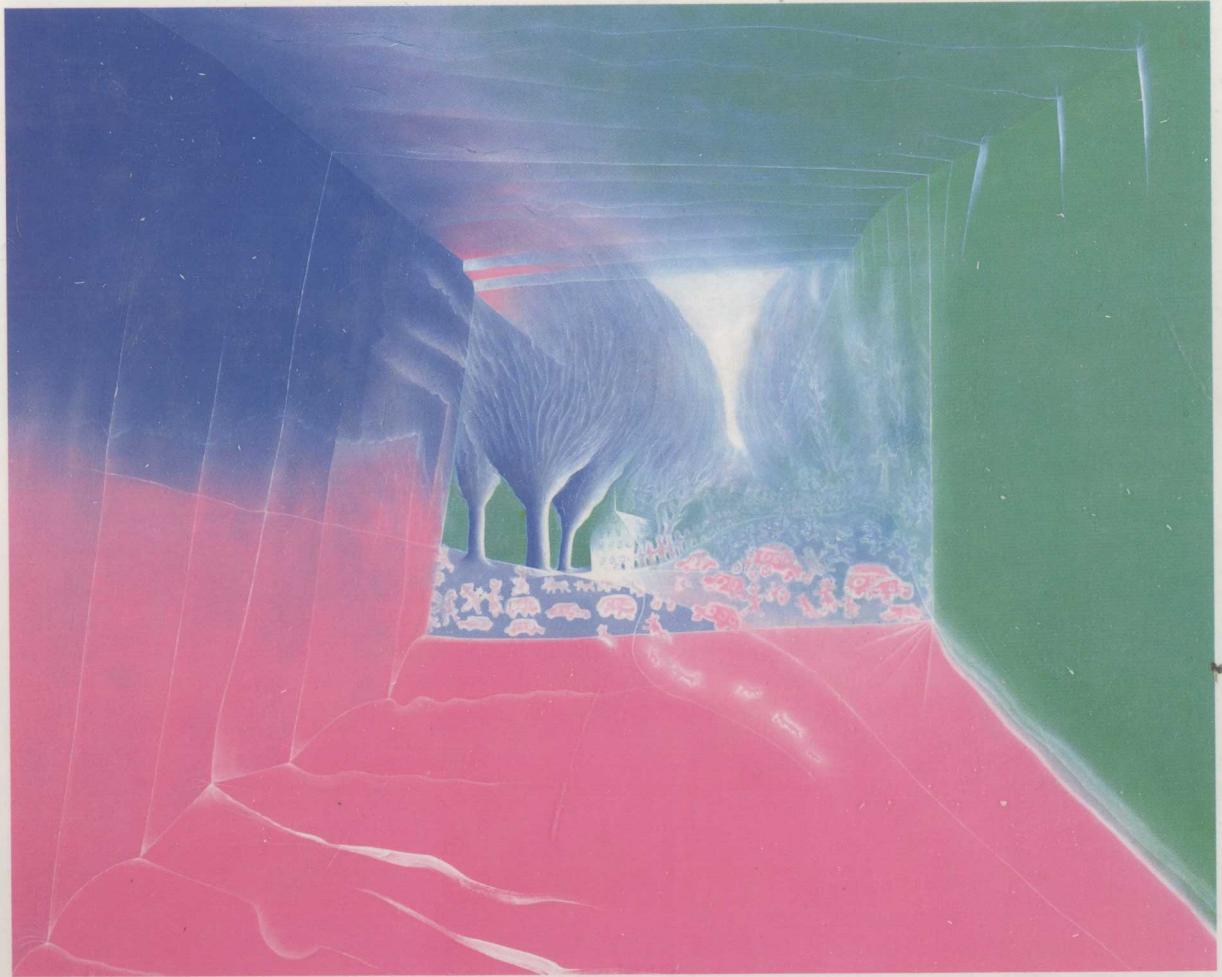


むこうに見える風景

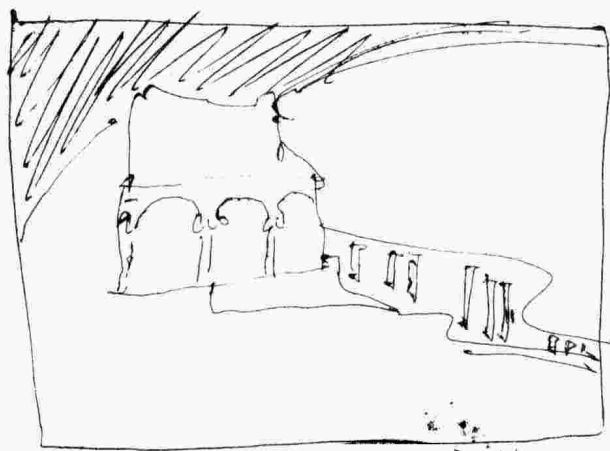
わたしの詩画集



鎌苅登代子

むこうに見える風景

わたしの詩画集



鎌苅登代子

むこうに見える風景

わたしの詩画集

1986年 4月24日発行

定 価 3500円

著 者 鎌苅登代子

作 曲 大津寄多美子

仏 訳 森栄子

英 訳 村田慶之輔・高木良子

監 修 村田登志江

構 成 三村淳

協 力 小山基夫・小保方光男

発 行 アトリエKAMAKARI

大阪市西区北堀江1-1-10

印刷所 凸版印刷株式会社

Printed in Japan

© TOYOKO KAMAKARI 1986

鎌苅登代子の風景

水上勉

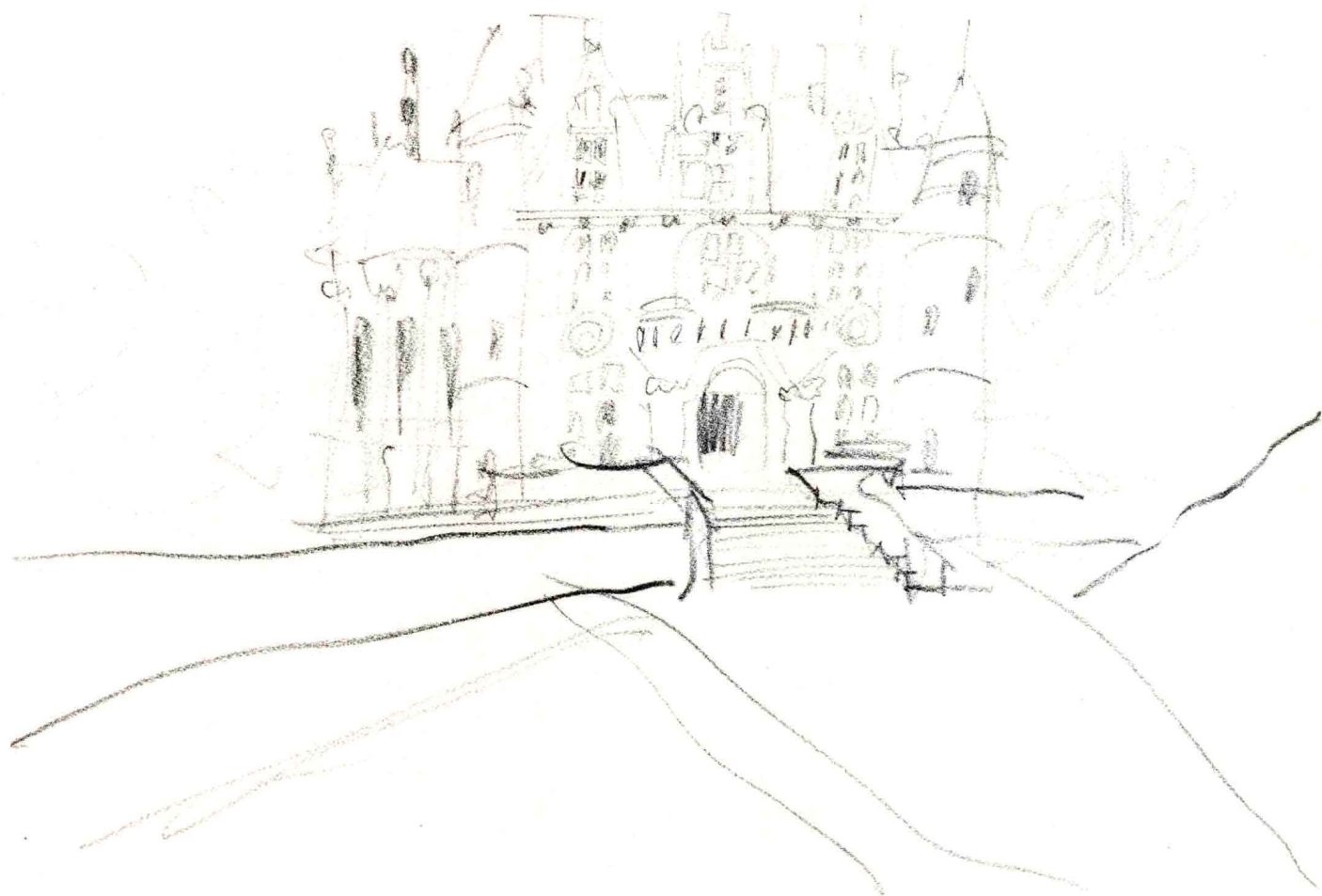
もう十何年か前のことだが、鎌苅さんの日
動画廊での展覧会場ではじめて、桃色旺歌の
作品群に出あった。ぼくのようなネクラ男は、
眼つぶしを喰ったような世界だった。「風」、
「樹」、「森」といった作品に、かろうじて、
カンナ屑のような濃緑、濃青がつかわれてい
て、それが何ともいえない効果で、眼を吸い
つけた。不思議な人がいると思った。

ぼくは小説を書いている。当然、オリジナ
ルが要求される。だが、言葉の綾織りという
ものは厄介なもので、軽卒に仕事をする
と、気づかぬうちに借り言葉を使うハメになる。
一糸でもまじればオリジナルではない。印度
にうまれた釈迦が唯我独尊といった。生れて
すぐいったと佛門で教わったのだが、そのオ
リジナルな己れを尊ばないで、通俗をつけ足
して生きてきているぼくに、鎌苅さんの絵は、
その独尊をささやいた。

もとより小説と絵とはちがっている。絵画
には門外の徒であるぼくが、鎌苅さんに感心
するのは、俗評を恐れず、自分の世界を持続

するところにある。桃色はピンクである。美しい。だが美しいだけに、もつとも俗なものでもある。その色に挑戦して、自分の心の絵を表現しようとする画家はまれだと思う。いつか大阪の展覧会場のオープンで、鎌苅さんの世界と人柄を「お嬢」という云い方でいった人がいた。なるほどと思った。古い都が生んだ「お姫さん」という意味にとらえて、うなずいたのだが、しかし、帰りがけに、そうだろうか、とぼくは反問したことを思いだす。「お嬢」「お姫さん」はほかにもいよう。鎌苅さんはちょっとちがう。底がぬけている。そういう枠にはめられる人でもない。絵画はその人を表現する。心の世界だから、いのちがかかっているのである。

こんど、鎌苅さんが、詩画集を出される。それにことばをよせよ、と云ってきた。これはまるで、ためされたような思いだ。あのうつくしい桃色の宇宙を、ぼくは汚すことを忘れながら、この文章をかいた。



むこうに見える風景
目次

序文 水上勉 2

ローマの雨 14

海 15

白いパラソル 18

わたしはあした旅に出るの 19

雑木林 22

ママの思い出 23

五月の風 25

六月の海 28

庭のみどりのシンフォニー 29

梅雨の朝 32

花飾りのついたオーガンディーの帽子を着て 33

春風にのって 36

片恋 38

サン・マルコ広場 39

胸さわぎ 42

あなたとわたし 43

もどかしい電話 46

ひなげし 46

男と女 47

なにをモジモジしているの？ 49

青春 52

カブリ島 56

もみじの思い出 60

雨の音 62

午後のベッドで 66

夏の詩 70

サン・マロー港 71

午後の小卓^{ディブル} 73

晩夏 76

雪の花	110
夜の駅	108
ヒロおじさん	105
カルチャーセンターにて	104
風の口笛	101
オルフェ	100
小さな部屋	97
ジャミール	95
パーティー	94
ディスコはお好き？	91
リンゴの吐息	90
白い月	86
ぜいたくな秋	84
秋雨	80
秋	77

雪おんな
111

?
114

生きるということ
115

現実
118

子守唄
119

早春
121

メリークリスマス
124

祈り
124

手紙
125

神さまほんの少しお話がしたいのです
128

主は愛するものを
129

わたしは小さな光になって
132

作詞・作曲

春風にのって
134

五月の風
135

白いバラソル
136

ローマの雨
137

サン・マロー港
138

海
139

Sea in June
140

Do You Love to Dance at Discotheque?
141

Jamihra
142

Mommy's Memory
143

Extravagant Autumn 144

Impatient Telephone Conversation 145

Merry Christmas 146

Party 147

Pluie Romaine 148

Poesie d'été 149

Joyeux Noël 150

Prière 156

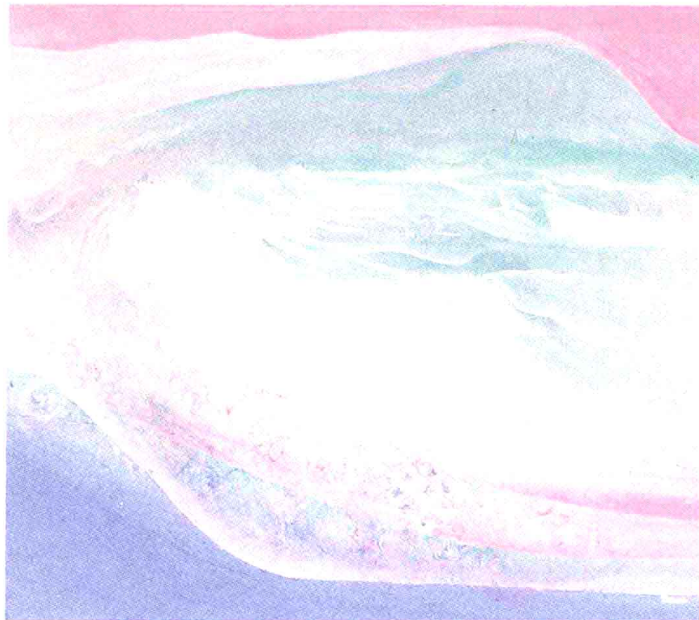
Seigneur, je voudrai parler un peu avec Vous 152

Berçeuse 153

作品名一覽

略歴

むこうに見える風景



ローマの雨

白い窓辺に

ゼラニウムの花が五つ

サン・タンジェロの鐘が鳴って

ローマに雨が降っている